

光寿

正月号
2008

恭賀新春

平成二十年元旦
光寿会役員一同



年頭のご挨拶

頼成光寿会会長 林 成憲

会員の皆様、明けましておめでとございます。平成二十年子年に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

昨年四月会長を拝命し、合わせて般若老人クラブ連合会会長も任せられました。五里霧中の中、組織の整備も現在軌道に乗ってきたところであり、初めは市老連へ理事として出席させて頂き、一方では市老連の広報委員としての役割分担を受けたところでもあります。市老連の組織・担当等にも戸惑うことばかりでありましたが、ようやく慣れて来たところでもあります。当光寿会においては前会長の多大なる援助のもと、順調にこれまでの行事をこなして来たところであります。本年も「サロン浮世亭」や広報紙「光寿」を継続しておりますが、会員一同の関心と理解を得てさらに充実させていきたいと考えております。また、当地におきましては国道バイパスや歩道の整備が進み、それに伴って地区の交通事情も変わってまいります。会員各位におかれましては、交通安全に十分留意され、高齢者による

季節のうた

取次の子の神妙に初電話
坂東東子とい句集「柿の花」より

事故の減少にご協力をお願いいたします。今年も皆様のお力添えを得ながら、健康で和気あいあいのうちに過ごせるよう祈念いたしまして新年のご挨拶と致します。



子年の福運もたらす年男と年女

羽子板「子」
作 開田紀子

今年の子年、光寿会会員で福運をもたらす年男、年女をご紹介します。

明治四十五年

林 ふで様 (壬子 甲子)

明 きのえね (敬称略 誕生日順)

生まれ

大正十三年

齋藤 廉治様 (甲子 丙子)

東 東 生れ

坂 東

昭和十一年

中 神 喜世様 (丙子 丙子)

川 東 生れ

北 東

昭和十一年

林 義夫様 (丙子 丙子)

善 導 東

坂 東

昭和十一年

坂 東 泰子様 (丙子 丙子)

善 導 東

坂 東

昭和十一年

林 成憲様 (丙子 丙子)

善 導 東

坂 東

昭和十一年

林 義夫様 (丙子 丙子)

善 導 東

坂 東

昭和十一年

林 成憲様 (丙子 丙子)

善 導 東

坂 東

昭和十一年

林 成憲様 (丙子 丙子)

善 導 東

坂 東

昭和十一年

林 成憲様 (丙子 丙子)

善 導 東

坂 東

昭和十一年

林 成憲様 (丙子 丙子)

善 導 東

坂 東

昭和十一年

林 成憲様 (丙子 丙子)

善 導 東

坂 東

昭和十一年

林 成憲様 (丙子 丙子)

善 導 東

坂 東

昭和十一年

林 成憲様 (丙子 丙子)

善 導 東

坂 東

昭和十一年

林 成憲様 (丙子 丙子)

善 導 東

坂 東

ネズミ三年でチユウ

ネズミ・ア・ラカルト

◆ネズミはどうしてネズミと言ったの？

- 寝ている間に食べ物を盗んでいくことから、寝盗(ねぬすみ)と言ったのがねずみになった。
- 不寝見(寝ずに見る)夜寝ずに食べ物をねらっていることからねずみと言った。
- 穴住(あなずみ)が変化してねずみになった。
- 根の国(大國主命がねずみに助けられた所が「根の国」)に住むものという意味でねず

みと言った。(大黒様とネズミの話をご覧ください)

◆どうして大黒様の使いになった

大國主命(大黒様)が根の国を訪れたとき、スサノオの計略にかかって野原の中で焼き殺されかけたことがあります。その時一匹の鼠が出て来て「内はほらほら、外はすぶすぶ」(穴の内側は広い、穴の入り口はすぼまって狭い)と言いました。その意味を悟った大國主命が力を入れてその場を踏むと、地面に穴が空きました。以来ねずみは大黒様の命の恩人として大切にされるようになりました。

◆西洋であまり好かれないのは

一三四年九月、シチリアの港から、肌が黒紫色に変色し数日で死ぬペスト(黒死病)という恐ろしい伝染病が発生し、またたく間にヨーロッパ全土に広がりました。人口が半分近くになったという説さえあります。この病気はネズミがその伝染源だったので、ネズミは悪魔の使いとして忌み嫌われました。

◆みんな仲間です



①ミッキーマウス ②おなじみのピカチュウ ③人気漫画映画トムとジェリー ④イタリアの人気人形劇の主役トッポジョ

木 鷓

今ではほとんど死語になったようですが、夫唱婦随という言葉があります。「夫が言い出し、妻がそれに従うこと。夫婦の仲がとて良く、和合していること」との意で、これは日本だけではなく、古くはキリスト教の聖書にもしばしば出てくるいわば人類の普遍的倫理の一つです。夫唱婦随というとすぐに封建的で誤った考えだと非難する人もいますが、その真意は、夫は夫らしく妻は妻らしく、互いに助け合おうということであって、決して両性の平等に悖るものではありません。でもこれが婦唱夫随となるといささか問題です。防衛省の不祥事に絡んで逮捕された守屋夫妻には、どうやら夫唱婦随ならぬ婦唱夫随の傾向があった、商社との付き合いには旦那より奥さんの方が積極的だったようですが、中国の故事にも雌鶏の朝(ひんけい)のあした朝、雄鳥ではなく雌鳥が時を告げるようになる(世の中がおかしくなる)というのがあって、夫と妻がその役割を取り違えると、ろくなことにはならないと戒めています。心したいものです。

